

平成22年度 森プロ事業実績：中濃森プロ

(平成23年3月末現在)

		H19～21年度	H22年度			5カ年
		実績	計画	実績	達成率	備考
集約化(ha)		87	5	48	780%	46
作業道(m)		5,175	1,300	0	0	作業路含む 7,000
間伐等	面積(ha)	90	25	48	192%	利用+切捨 250
	材積(m ³)	2,626	800	339	42%	9,200
備考		団地外実績(利用間伐18ha、搬出材積955m ³ 、作業路開設1,695m)				

H22年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金含む) 2,209 円/m³

施業集約化の状況

施工状況報告会を事業地にて開催。

財産区管理者を招いての採

施業プランの活用状況

プラン書にて個別に説明し承諾を得ている。

施業プランナーの養成状況

・森林施業プランナー：3名



団地内作業システムの状況

今年度は、作業路開設せず、下記のシステムにより実施。

チェーンソー(伐倒)→グラップル(集材)→チェーンソー(造材)→フォワーダ(運材)→グラップル(積込)
状況にあわせて、スイングヤーダで道まで集材する方法も選択



グラップルによる集材



フォワーダによる運搬

組合直営班による作業状況

[参考] 団地外作業システムの状況

平成22年度 素材生産性 3.4 m³/人・日

メインシステム: チェンソー(伐倒)→グラブ(集材)→ハーベスタ(造材)→フォワーダ(運材)→グラブ(積込)

状況にあわせて、スイングヤードで道まで集材する方法も選択



スイングヤードによる集材



作業路開設状況

その他

作業システムや作業道開設技術を効率的に修得するため自主的な研修・視察を実施。

- 1 郡山市多田野財産区管理会視察
- 2 岐阜県山林協会西南濃支部視察
- 3 富山県婦負森林組合視察
- 4 せき森林づくり委員会視察
- 5 低コスト木材生産システムによる間伐研修会



森プロの成果

路網整備と高性能林業機械を組み合わせた長伐期・非皆伐施業を確立させるため新規の施業プランナーが養成できた。(2名)

この取り組みを森林所有者や一般市民にPRすることができ、他地区において施業集約化を推進し利用間伐の機運が高まった。

今後の課題

更なる集約化の推進のための施業プランナー養成。

直営林産班の技術の向上及び、造林班の林産班への転換

上記課題を解消するために、作業コストの分析及び高性能林業機械の新規導入及びレンタルを含む利活用。